

日本気管食道科学会より

『 加齢性声帯萎縮症の全国調査 』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

全国の気管食道科学会認定専門医研修施設に対し、加齢性声帯萎縮症例について重症度、初発年齢、罹患期間、治療経験などを全国調査し、治療を行った場合、治療方法、治療期間、治療効果などの効果を検討するものです。

➤ 研究（調査）の方法

①全体アンケート

貴院での、症例数、行っている治療法、言語聴覚士の雇用（常勤、非常勤を問わない）、ストロボスコープでの声帯診察の有無

②個別データ収集

最長発声持続時間、Voice Handicap Index - 10を用いた嗄声の重症度、初発年齢、罹患期間、治療を行った場合、患者背景、個人に行った治療方法、治療期間、治療効果の状況など治療を行った場合、治療方法、治療期間、治療効果の状況

➤ 研究（調査）の参加施設

全国の気管食道科学会認定専門医研修施設

➤ 調査期間

承認日～2026年3月31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

下記のような診療を受けた患者様の情報を用いた研究を行います。
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

●2018年1月1日～2023年12月31日までに治療を受けた20歳以上の加齢性声帯萎縮症の患者様

➤ この調査への協力は任意です。

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者： 渡邊 雄介 （施設名）国際医療福祉大学東京ボイスセンター

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F

E-mail : jbes@kishoku.jp